

協 定 企 業 名	高知トヨペット株式会社
交 流 行 事 名	第39回ふれあいグリーンキャンペーン
開 催 日 時	平成26年7月8日(木) 9:45~11:40
開 催 場 所	土佐市立宇佐学校
主な参加者・人数	宇佐小学校5年生(14人)及び教員、準ミスインターナショナル2014皆川智苑さん、高知トヨペット株式会社、土佐市教育委員会及び土佐市産業経済課、高知県中央西林業事務所、高知県林業環境政策課など 約30名

交流行事の概要



高知トヨペット(株)は昭和51年から、地域に根差した環境保全・緑化活動として「ふれあいグリーンキャンペーン」事業に取り組んでいます。平成19年に土佐市及び高知県と“協働の森づくり事業”パートナーズ協定を締結してからは、土佐市内の小中学校の児童・生徒を対象に森林環境学習や間伐体験などの交流活動を展開しています。

第39回目のふれあいグリーンキャンペーンとなる今年は宇佐小学校を訪ね、5年生の生徒14人と交流を深めました。

まず、土佐市の門田教育長と高知トヨペット(株)西山代表取締役社長のあいさつに続き、準ミスインターナショナル2014日本代表の皆川智苑さんが、(公社)国土緑化推進機構理事長からのメッセージと共に、苗木と目録の贈呈を行いました。



続いて、高知県中央西林業事務所職員が「森林の働き」と題して講義を行い、土佐市や仁淀川町などの県産材を使用した商品の紹介、森林が持つ公益的機能や間伐の重要性などを説明しました。高知県産の木材が、広島県の厳島神社や京都の清水寺の修復などにも使用されていることや、品質が認められて韓国へ輸出されるようになったこと、土佐市内の製紙工場では木質バイオマスが活用されていることなども紹介されました。

次に、土佐市産業経済課職員が〇×形式の「森林クイズ」を出題。子どもたちは一生懸命考えながら回答していました。問題は少し難しかったかもしれませんが。上位正解者には高知トヨペット(株)よりハイブリットカー工作キット、その他の子どもたちには土佐市よりマスコットキャラクターであるブルーとピンクのドラゴン「とさごん」「お竜」のぬいぐるみがプレゼントされました。



その後校庭に移動し、学校の玄関前で、高知トヨペット(株)から贈られた苗木の植樹をしました。全員で花壇の前で記念撮影をした後、高知トヨペット(株)社員の方から、プリウス開発の経緯、トヨタの環境への取り組みや環境対応自動車の仕組みなどについてお話を聞きました。生徒たちは、家庭で充電して走行できるプラグインハイブリッド車にも試乗し、その乗り心地を体感していました。

最後に宇佐小学校の児童からお礼のあいさつがあり、交流活動は終了しました。

